

「地球科学」講義予定（平成24年度後期）
冬学期木曜3限目（13:00-14:30、駒場524教室）

講義の目的：

我々がすんでいる地球は、システムとして捉えることが重要である。ここでは、特に、環境・エネルギー問題を考える上で基礎となる地球科学的ものの考え方と地球をシステムとして捉える捉え方を講義する

理解すべき事項：

地球システム、資源・エネルギー、地球環境、物質循環、固体地球、地殻、流体地球、海洋、地下水、大気、酸性雨、地球環境変遷史

講義内容：

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 第1回（10月11日） | ガイダンス&プレートテクトニクスの考え方と日本列島の位置づけ |
| 第2回（10月18日） | 宇宙の中の地球 |
| 第3回（10月25日） | 地震・火山活動と人間活動 |
| 第4回（11月1日） | 水循環 |
| （11月8日） | 休講 |
| 第5回（11月15日） | 石油・天然ガス資源の形成過程 |
| （11月22日） | 休講（駒場祭準備） |
| 第6回（11月29日） | 地球と生命の共進化 |
| 第7回（12月6日） | 鉄と宇宙資源 |
| 第8回（12月13日） | 地球環境の変動 |
| 第9回（12月20日） | 地圏利用（CO ₂ 処分）と地球科学 |
| 第10回（1月10日） | 海底鉱物資源1 |
| 第11回（1月17日） | 海底鉱物資源2 |
| 第12回（1月24日） | 地球環境と資源の因果関係 |
| 第13回（1月31日） | マンツルの進化と資源 |

担当教員：

加藤泰浩（システム創成学科）ykato@sys.t.u-tokyo.ac.jp

徳永朋祥（システム創成学科）tokunaga@k.u-tokyo.ac.jp

宮本英昭（総合研究博物館）hm@um.u-tokyo.ac.jp

参考図書（総論的なもの）

「生命と地球の歴史」丸山茂徳・磯崎行雄著 岩波新書（660円）

「地質学1：地球のダイナミクス」平朝彦著 岩波書店（4400円）

（各論的なもの）

「太平洋のレアアース泥が日本を救う」加藤泰浩著 PHP新書（780円）

「海と環境」日本海洋学会編 講談社（2800円）